



## 2023年度が始動します!

一般社団法人 大阪府作業療法士会  
会長 関本 充史 (株式会社リニエ)



COVID-19が5類へ移行するにあたり、感染対策が緩和されるが、会員の皆さんの所属先では今までと同様の感染対策がなされているかと思えます。

2022年12月に行われました第36回大阪府作業療法学会では、感染対策をしながら対面にて盛大に行われました。牟田学会長はじめ、運営に携わってくださった会員の皆さんに、この場を借りて御礼申し上げます。コロナ禍以来、初めての対面開催であり、久しぶりの対面で喜びの声や会員同士の意見交換も活発に行われていました。また、コロナ禍で一度も対面研修会へ参加したことがない会員は、初めての対面研修が本学会だったかもしれません。理事会もハイブリッド型の会議開催とし、対面の機会を増やしているところです。実際に会った議論や、会議後に各部局の調整が行われたりと、対面の必要性和重要性を改めて実感します。この数年で普及したWebでの会議や研修会と、対面開催を使い分けて士会運営していきたいと考えております。

2023年度は、COVID-19の5類へ移行に伴い当士会運営方法も変更していき、より一層活発にしていきたいです。今年度は協会員=士会員を進めていきたいと思えます。日本作業療法士協会協会誌でも記載しておりますので、是非ご確認をお願いします。

就労支援についての他団体と共催によるセミナー等も企画していきたいと考えております。研修会については、感染対策マニュアルと共に対面研修を増やしていき、この数年で手から手へ伝えられなかった知識・技術を共有し深めていきたいと考えております。ここ数年、コロナ禍で会員の皆さんに負担があり、研修会も十分開催出来なかったため受講費無料としておりました。2023年度からの研修会運用について、理事会で議論した結果、有料化するがコロナ禍以前よりも会員が受講しやすい価格設定にすることとしました。議論の中では、無料化の継続や有料化、他職能団体の状況などの意見がありました。自己研鑽は、当士会の目的である「大阪府民の保健・医療・福祉の発展に寄与する」を達成するための5つの事業のひとつです。自己研鑽は、医療職として対象者に適切に作業療法を届けるために、自身でもしっかりと身につけて頂きたい、このような決断としました。会員へのメリットとして、低価格で受講出来るよう調整しております。何卒、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

本年も大阪府民に役立つ職能団体として、邁進していきますので、何卒ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。